

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【公表番号】特表2012-502150(P2012-502150A)

【公表日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2011-526431(P2011-526431)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 5/5425 (2006.01)

C 08 K 5/14 (2006.01)

C 08 F 255/02 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 K 5/5425

C 08 K 5/14

C 08 F 255/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年7月3日(2013.7.3)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

成分A、該成分A中で0.1～20質量%が、ミリスチン酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、又は少なくとも1種のミリスチン酸、又はミリスチン酸を含有する珪素不含前駆化合物であり、及び担体材料、安定剤、添加物、又はこれらの混合物を含有し、前記成分Aの上記内容物質が合計して100質量%であり、

該マスタークリットが成分Bを含有し、ここで成分B中、60～99.9質量%が、
ビニルトリメトキシシラン、ビニルトリエトキシシラン、ビニルメチルジアルコキシシラン、ビニルトリエトキシメトキシシラン(VTMOEO)、ビニルトリ-i-プロポキシシラン、ビニルトリ-n-ブトキシシラン、3-メタクリルオキシプロピルトリエトキシラン、3-メタクリルオキシプロピルトリメトキシシラン(MEMO)、ビニルエトキシジメトキシシラン、アリルアルコキシシラン及び/又は不飽和シロキサンであり、
0.05～10質量%のラジカル形成剤及び

0.05～10質量%の少なくとも1種の安定剤及び/又は
0.05～99.9質量%の少なくとも1種の担体材料、安定剤、添加物又はこれらの混合物を含有し、ここで量記載は成分B中で合計100質量%であることを特徴とするマスタークリット。

【請求項2】

前記成分A中で0.1～20質量%が、少なくとも1種のミリスチン酸、又はミリスチン酸を含有する珪素不含前駆化合物であり、かつ担体材料、安定剤、添加物、又はこれらの混合物を含有し、前記成分Aの上記内容物質が合計して100質量%であり、

該マスタークリットが成分Bを含有し、ここで成分B中、60～99.9質量%が、
ビニルトリメトキシシラン、ビニルトリエトキシシラン、ビニルメチルジアルコキシシラン、ビニルトリエトキシメトキシシラン(VTMOEO)、ビニルトリ-i-プロポキシ

シラン、ビニルトリ-n-ブトキシシラン、3-メタクリルオキシプロピルトリエトキシシラン、3-メタクリルオキシプロピルトリメトキシシラン(MEMO)、ビニルエトキシジメトキシシラン、アリルアルコキシシラン及び/又は不飽和シロキサンであり、0.05~10質量%のラジカル形成剤及び

0.05~10質量%の少なくとも1種の安定剤及び/又は

0.05~99.99質量%の少なくとも1種の担体材料、安定剤、添加物又はこれらの混合物を含有し、ここで量記載は成分B中で合計100質量%であることを特徴とするマスターキット。

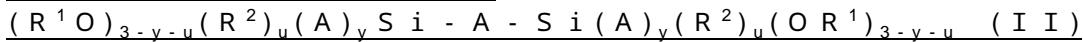
【請求項3】

1) 熱可塑性ベースポリマーの混合物を、(a)ミリスチン酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物及び請求項1に記載の有機官能性シラン化合物及び、(b)ミリスチン酸、ミリスチン酸を含有する珪素不含前駆化合物並びにラジカル形成剤とコンパウンド装置中で反応させるか又は

2) 熱可塑性ベースポリマーを第一工程で、(a)請求項1に記載の有機官能性シラン化合物並びにラジカル形成剤と反応させ、次の引き続いての工程で、ミリスチン酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、ミリスチン酸含有の珪素不含前駆化合物及び/又はミリスチン酸の添加下で、型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

3) 熱可塑性ベースポリマーを第一工程で、

(a) 少なくとも1種のミリスチン酸のオレフィン性珪素含有前駆化合物として、一般式I及び/又はII



のミリスチン酸、

前記式中、相互に無関係に、zは1、2又は3であり、xは0、1、2又は3であり、yは0、1、2又は3であり、uは0、1、2又は3であり、ここで式I中z+xは()3以下であり、式II中y+uは相互に無関係に()2以下であるという条件であり、

Aは、相互に無関係に、式I及び/又はII中で1価のオレフィン基であり、Aは、式II中の2価の基として2価のオレフィン基を表し、

R¹は、相互に無関係に、カルボニル-R³基に相応し、ここでR³はミリスチン酸から誘導される炭化水素基に相応し、

R²は、相互に無関係に、炭化水素基であり、

並びにラジカル形成剤

と反応させ、次の工程でミリスチン酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、ミリスチン酸を含有する珪素不含前駆化合物及び/又はミリスチン酸の添加下で、型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

4) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び/又はプレポリマーを(a)請求項1に記載の有機官能性シラン化合物並びにラジカル形成剤と反応させ、次の工程で、ミリスチン酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、ミリスチン酸及び/又はミリスチン酸を含有する珪素不含の前駆化合物の添加下で、型に入れ、引き続き湿気の作用下で架橋させる、ポリマーコンパウンドの製法。

【請求項4】

1) 熱可塑性ベースポリマーの混合物を、請求項1に記載のマスターキットの成分B及び請求項1に記載のマスターキットの成分Aとコンパウンド装置中で反応させるか又は

2) 熱可塑性ベースポリマーを第1工程で、請求項1に記載のマスターキットの成分Bと反応させ、次の工程で請求項1に記載のマスターキットの成分Aの添加下で型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

3) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び/又はプレポリマーを請求項1に記載のマスターキットの成分Bと反応させ、次の工程で請求項1に記載のマスターキットの成分Aの添加下で型に入れ、引き続き湿気の作用下で架橋させるか又は

4) 熱可塑性ベースポリマーを請求項1に記載のマスターキットとモノシル法で反応させるか又は

5) 熱可塑性ベースポリマーを請求項1に記載のマスターキットとシオプラス法で反応させるか又は

6) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び/又はプレポリマーを請求項1に記載のマスターキットと共に重合法で反応させる、ポリマーコンパウンドの製法。

【請求項5】

請求項1に記載のマスターキットを、シラングラフト又はシラン共重合した及び/又は充填剤入り又は無充填のポリマーコンパウンド及び/又は架橋した、充填剤入り又は架橋した無充填のポリマーの製造で使用することを特徴とする、請求項3又は4に記載の方法。

【請求項6】

請求項3から5までのいずれか1項に記載の方法により得られる、ポリマー、ポリマーコンパウンド、充填剤入り又は無充填のプラスチック。

【請求項7】

請求項3から5までのいずれか1項に記載の方法により得られるポリマーコンパウンドを使用して得られる成形体。

【請求項8】

請求項1に記載のマスターキット並びに、その他の成分として熱可塑性ベースポリマー、シラングラフトベースポリマー、シラン共重合ベースポリマー、ベースポリマーのモノマー又はプレポリマー及び/又は(d)これらの混合物を含むポリマー・キット。

【請求項9】

請求項1に記載のマスターキット又は請求項8に記載のポリマーキットの、熱可塑性ベースポリマーをベースとする充填剤入り及び/又は無充填のポリマーコンパウンド及び/又は架橋した、充填剤入り又は架橋した無充填のポリマーの製造用の使用。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0075

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0075】

本発明の目的は、ポリマーコンパウンド、例えば顆粒、完成品、成形体、特に充填剤入り又は無充填のポリマーの製法でもあるが、その際、

1) 熱可塑性ベースポリマーの混合物を、特に(a)群の成分の有機酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物及び/又は有機官能性シラン化合物及び場合により、特に(b)群の成分の有機酸、有機酸を含有する珪素不含前駆化合物並びにラジカル形成剤とコンパウンド装置中で、特に湿気の存在で、反応させるか又は

2) 熱可塑性ベースポリマーを第一工程で、特にシラングラフトされたポリマーを製造するため、(a)有機官能性シラン化合物並びにラジカル形成剤と反応させ、次の、特に引き続いての工程で、有機酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、有機酸及び/又は有機酸含有の珪素不含前駆化合物の添加下で、型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

3) 熱可塑性ベースポリマーを第一工程で、(a)特に $z = 1, 2$ 又は3である一般式I及び/又はIIの、有機酸の少なくとも1種のオレフィン性珪素含有前駆化合物並びにラジカル形成剤と反応させ、次の工程で有機酸の少なくとも1種の珪素含有前駆化合物、有機酸を含有する珪素不含前駆化合物及び/又は有機酸の添加下で、型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

4) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び/又はプレポリマーを(a)有機官能性シラン化合物並びにラジカル形成剤と、特にシラン共重合ベースポリマーを製造するために、反応させ、次の、特に直接又は単に次の工程で、有機酸の少なくとも1種の珪素含有前駆

化合物、有機酸及び／又は有機酸を含有する珪素不含の前駆化合物の添加下で、型に入れ、引き続き湿気の作用下で架橋させる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

ポリマーコンパウンド、例えば顆粒、完成品、成形体、特に充填剤入り又は無充填のポリマーを製造するための本発明によるもう一つの方法によれば、

1) 熱可塑性ベースポリマーの混合物をマスターキットの成分B及び前記マスターキットの成分Aとコンパウンド装置中で反応させ、場合により所定の時点で型に入れ、湿式架橋させるか又は

2) 熱可塑性ベースポリマーを第一工程で、前記マスターキットの成分Bと反応させ、次の工程で前記マスターキットの成分Aの添加下で型に入れ、湿気の作用下で架橋させるか又は

3) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び／又はプレポリマーをマスターキットの成分Bと、最初に記載したように、反応させ、次の工程でマスターキットの成分Aの添加下で型に入れ、引き続き湿気の作用下で架橋させ、特に熱可塑性ベースポリマーをマスターキットの成分Bと混合し、反応させ、引き続き顆粒にし、場合により、例えばアルミニウム被覆した袋にP E g (P E Granulat)として充填又は包装する。次の工程で成分Aを顆粒(P E g)に添加し、混合し、場合により型に入れ、その間か又は続いて湿気の存在で架橋させるか又は

4) 熱可塑性ベースポリマーを前記配合物又は前記マスターキットと、特に前記した有利な配合物と、モノシリル法で反応させるか又は

5) 熱可塑性ベースポリマーを前記配合物又は前記マスターキットとシオプラス法で反応させるか又は

6) 熱可塑性ベースポリマーのモノマー及び／又はプレポリマーを前記配合物又は前記マスターキットと共に重合法で反応させる。